



暖かい師走を迎えている2010年。PTA主催による三日野恒例のお餅つきのお手伝いをしました。昨年はインフルエンザ蔓延のため、中止になってしまったこのイベント、今年もたくさんの参加者がつきたての美味しいお餅をお腹一杯になるまで、楽しみました。

三日野 お餅つき (12月4日)

恒例となりましたお餅つき、おやじの主に力仕事を担当します。校庭が工事中のため、今年の会場は体育館となりましたが、PTAの指導の下、前日までに杵・臼の準備や体育館内のセッティングを済ませ、当日は朝8時から、餅つき機の搬入、セッティング、資機材のセッティング、食材の運搬、お餅つきのデモンストレーション、後片付けなどをお手伝いしました。



左から、餅つき機を置く場所のテント張り、杵・臼の準備、餅米の搬入、蒸した餅米の運搬・餅つき機への挿入。右はとても働き者である餅つき機。(日野屋さん)



このようにお餅が出てくる

日野屋さんのご挨拶で開会された今年のお餅つき、300名近い参加者・スタッフで一杯になった体育館では、おやじたちのデモンストレーションに続き、子供たちによる餅つき体験に長い列ができました。お餅をつくのが初めての子供も、毎年たくさんついている子供も、カ一杯、杵を振り下ろしていました。



PTAの皆様も大忙しでした。

今年用意された餅米は90kg。みんなですついたお餅で鏡餅が作られます。機械ですついたお餅が、みなさんのお腹に収まりました。外に置かれた機械の前では、摘み食いをする人もちらほら。でも、つきたてのお餅の美味しさを一度知ってしまうと、そばを離れられなくなります。



《編集後記》

肝試しの翌週、こちら昨年新型インフルエンザの影響で開催出来なかった大イベント。今年のおやじの活動も忘年会を残すのみとなりました。来年もまた、楽しいイベントをたくさん用意して、皆様の思い出作りをご支援したいと思います。お身体にお気を付けて、良いお年をお迎え下さい。(文責山田)

